

## 西区 西内野コミュニティ協議会

活動名：西内野あいさつ運動

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域のコミュニケーションの減少。あいさつはコミュニケーションの基本であり、あいさつを通して児童・生徒の公共心や社会性を醸成していくことは、たいへん重要。あいさつの多い地域は防犯にもつながる。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

学校・PTA・地域が組んで取り組む。コミ協の青少年・文化部が主催。子どもたちをきっかけに大人も子どもの手本になるようなあいさつを推進。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

ポスター、回覧版で運動の実施を周知。コミ協はベスト、PTAは腕章をつけて、自治会から5名の推進員を選出。登下校時にあいさつ運動を推進。振り返りシートの記入。学校は児童への指導を行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西内野小学校、内野中学校

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

あいさつを通して、地域の子どもたちに目が向くようになった。地域の子どもは地域で育つ、といった意識が増した。交通安全や道路標識、道路の形状など、普段気が付かなかったことに気が付き、結果、地域の安心安全につながった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

活動について、振り返りシートを記入してもらうことで、問題点などがよくわかり課題解決につながった。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

初の取り組みだった。今後も継続し、運動期間ではなくても地域でよりよいコミュニケーションがとれる地域になるよう習慣づけられるといい。また、運動の周知のために次年度はのぼり旗などを作成し一層の推進をしていきたい。



児童の顔はわからないように加工してあります。

## 西区 コミュニティ中野小屋

活動名： 親子三代ふれあい会

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域住民の融和と協調を図り、在宅福祉活動を推進し、住民の福祉向上と地域のより良い環境づくりに努めることを目的に平成3年に発足し、敬老会事業の他に独居老人世帯の友愛訪問などを実施している。

地区の敬老会は、婦人会主催であったが、この親子三代ふれあい会の発足にあたり、ふれあい会の敬老事業として実施することになり、平成3年度から「敬老会」というイベント名称を「中野小屋地区親子三代ふれあい会」に改称して実施している（敬老会は平成27年で65回、親子三代ふれあい会としては25回）

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

該年度に満75歳以上になる方を対象者とし、今回は572人いらっしゃった（出席者125名）。対象者全員に記念品を贈呈し、米寿の方32人にはお祝い品（座布団）と元中野小屋郵便局長からの色紙を贈呈している（出席者7名）。また100歳になられた方には、お祝い金を贈呈している（本年は該当者なし）。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

参加者は敬老対象者のほか、保育園・小中学校、福祉施設等を含む出演者、その他地区住民など600人規模のイベントになる。そこで、6月から自治連・コミ協で合同会議を始め出演依頼や記念品選定、企画運営の準備・PRを周到に行っている。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実行委員会である親子三代ふれあい会を組織するとともに、自治連絡協議会、老人クラブ協議会、民生児童委員協議会、防火連合会、農協女性部、西区社会福祉協議会、西地区公民館で組織されている。実行委員長にはコミ協会長、副会長に自治連・老人クラブ・民生委員の長が就いている。

## 実績・効果

### Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

孫や子供の遊戯や演奏は、お年寄りに特に好評である。また、新潟県ミニコロニー構想に基づく最初の施設として設立されたみずほ園・第2みずほ園・みのり園や新潟あそか苑職員の劇や踊りは、常に喝采を得ている。後半のアトラクションでは、お年寄りが自ら出演したり、地区の様々な芸能団体の発表の場となったりしている。

水利を巡る過去の対立や地域性の違いを克服し、地域の一体感醸成にも効果的である。

### Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

参加しようという気持ちを持っていただくための記念品の選定、幅広い年代層の出演者の確保や発掘、役員や自治会長の負担軽減 等

### Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

当地区では、このほか地区の文化祭として毎年瑞穂祭を開催している。中学校・小学校・JA・コミ協・自治連で開催。27年は第10回瑞穂祭を10月25日中学校とJA中野小屋支店を会場で開催。地区運動会が廃止になり、地区住民が集える行事として始まった。





### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 大規模な災害時に、地域全体で的確な対応ができるよう中学生を対象に応急措置技術を身に付けさせ、大人達の助力となるように養成する。
2. 災害に対応できる人員の増大を図る。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 災害時に備え、中学生を対象とし防災に関するスキルを高める。
2. 中学生の先輩から後輩に防災意識を継続させる。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 心肺蘇生・AED 使用訓練
2. 応急手当・搬送訓練
3. 初期消火訓練

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

地域消防署及び消防団

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 訓練を行うことで緊急時に的確に行動できると思う。
2. 災害時に地域の大人と連携し防災活動ができると思う。
3. 中学生時代に防災意識を高めることで、地域内外に問わず応急対応ができる。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 中学生の部活動と重なり、参加人数が少なかった。
2. 次年度以降は、学校と連携を図り参加者を多くする。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

災害時の緊急対応が重要視される昨今、緊急対応措置の必要性が求められていると思うので、次年度以降も養成講座を継続して行う。



# 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：防犯ボランティア活動事業

## 活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 安心安全に暮らせる地域環境づくり。
2. 自転車を利用しての通勤通学者の自転車盗難防止
3. 不法侵入盗難事故防止。
4. 特殊詐欺（オレオレ詐欺など）被害防止。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 寺尾交番、西区役所と連携し、地域住民の安心安全な生活を守るため防犯パトロールを行う。
2. 小中学児童が安全に通学できるよう節目節目に防犯パトロールを行う。
3. 特殊詐欺被害防止講習会を行う。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 寺尾駅、新大駅前自転車盗難防止パトロール。
2. 商業施設における車上狙い盗難防止パトロール。
3. 自転車施錠のチラシ、防犯チラシの配布。
4. 特殊詐欺被害防止講習会の開催。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西警察署

## 実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 前年度に比較し自転車盗難被害を減少させた。
2. のぼり旗、チラシ配布で防犯意識を高めた。
3. 盗難件数を削減した。
4. 特殊詐欺被害防止意識を高めた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 警察署、寺尾駐在と連携を図り、より一層のパトロール体制の強化が必要。
2. 特殊詐欺被害防止を図るため漫談家やマジシャンを招いての講習会を開催した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

本事業は継続的に行うことが重要なことから次年度以降も継続する。



## 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：各自治会に於ける高齢者を支える担い手の育成

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成29年4月から導入される「地域包括ケアシステム」構築に向け、高齢者に対する支え合う体制作りが急務である。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

各自治会に於ける人材養成としてのリーダー育成研修会を3回行った。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

リーダー育成講座を3回実施すると共に、意見の交換会を合わせて行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟医療福祉大学・大学院准教授 青木 茂

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

高齢者を支える担い手育成研修会を3回開催した。

その成果としては、昨年と比較すると参加者より多くの意見が出され包括ケアシステムに関する理解も深まり、関心が集まっている。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

昨年に続いての開催で高齢者に対する各自治会でのニーズも高まっているものの、寄り添い集う施設（場所）又、サポートする人材の確保。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域包括ケアシステムに対して、地域内の関心も高まっていることから、各自治会と協力を図り、地域対応について継続して支援する。



グループ 6

<p>場所</p> <p>自若会館 自若会館</p> <p>空き家 空き家の活用 空き家の活用 空き家の活用</p> <p>その他 自若会館 自若会館</p>	<p>費用(お金)</p> <p>一人 100円</p> <p>2045円 行和会は プラス</p> <p>参加費 研修費 社会保険</p> <p>お茶飲み会 自若会館 茶室3用費</p>
<p>人材</p> <p>最初の子 役員 役員</p> <p>福祉部 ボランティア</p> <p>老人会 ニホ会</p> <p>一緒に やる方に お家様に 1泊5日</p>	<p>内容(企画)</p> <p>健康の大切 お話し 昔話 体技</p> <p>お話し 昔話 体技</p> <p>社会見学 視察</p> <p>健康の大切 お話し 昔話 体技</p> <p>三世代 交流</p> <p>声を出さ うてもらう (お話し)</p> <p>自若会館 お茶飲み会 茶室3用費</p> <p>二泊三日 研修(11日)</p> <p>お話し</p>
<p>その他</p> <p>理念 何のために やる?</p> <p>孤立を 防ぐ</p> <p>誰か (お話し)</p> <p>誰か (お話し)</p> <p>交流 親ばか</p> <p>みんな 一緒に やる</p>	<p>高齢者の健康 お話し 昔話 体技</p> <p>三世代 交流</p> <p>個人の人望 お話し</p>

## 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：高齢者支援のための自治会活動実態把握と実践調査

### 活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域活動の中心的な役割を担う自治会活動が、高齢化による組織の弱体やリーダー不足により停滞が見られる。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

各自治会活動の意識や実態についてのアンケート調査を行い、その問題点・課題・解決策を実践的なデータ分析により意識啓発を図る共に、地域活動の活性化に繋げる

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

44自治会の組織体制と地域活動実態、問題点、課題などについてのアンケート調査を行い、調査結果を分析し、報告書にまとめ各自治会及び関係機関に配布する。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

NPO 法人まちづくり学校

### 実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

各自治会から頂いたアンケートに基づき、自治会活動の実態と課題をデータ化し、地域防災、地域包括ケアシステムへの対応を報告書にまとめ各自治会に配布し、各自治会の意識の醸成が図られたと感じる。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

アンケート項目の分析とまとめの考察。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

アンケート結果に基づき、自治会との個別意見交換を行い、問題点や課題を解決し、各自治会の「明るく住みよいまちづくり」に取り組む。

坂井輪中学校区まちづくり協議会  
自治会活動実態把握と実践調査  
結果報告書

2016年1月

坂井輪中学校区まちづくり協議会 連合自治部

# 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：地域と学校連携あいさつ運動

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 当地域に限ったことでないが、子どもに対する不審な声掛け、連れ去り事件も危惧される。
2. 子ども同士、地域住民でも親しくない人にはあいさつをしない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 小中学生の登校時に子ども同士、また、子どもと大人が気軽にあいさつを交わす。
2. あいさつを交わすことによって地域住民同士の絆を深め、安心して安全なまちづくりをする。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. あいさつ運動のチラシを全世帯に配布し、意識啓発を行った。
2. あいさつ運動「のぼり旗」を作り通学路及び各自治会や学校に設置した。
3. 坂井東小学校、新通小学校、坂井輪中学校との協力体制の中で1週間街頭での呼びかけを行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

坂井輪中学校、新通小学校、坂井東小学校

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

学校と連携してあいさつ運動をしたことによって、子どもたちから自然にあいさつをもらえるようになった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. のぼり旗作成し、学校及び街頭に設置した。
2. あいさつ運動強化月間を決め、街頭立哨を行った。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

小中学生に限らず、大人を巻き込み地域住民の絆を盛り上げ、安心して安全なまちづくりするため次年度以降も継続する。

# 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：坂井輪を花で飾ろう 2015 推進事業

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 潤いのある緑豊かな生活環境の確保、豊かさゆとりを実感できる生活環境を作る。
2. 地域住民との共同作業を行い地域内のコミュニケーションを図る。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 住民一人一人の協力を得、公共の場を美しく保つと共に緑化意識を高める。
2. 西区住民のコミュニケーション意識を深める。
3. 生き生きした坂井輪を作る。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 学童、地域住民、構成団体等にチラシ配布しボランティアを集う。
2. 春（ペゴニア）と秋（ビオラ、チューリップ）の2回、花の植栽活動を実施した。
3. 植栽場所は、西区役所、西消防署寺尾出張所、新潟大学駅前、寺尾駅前広場等、坂井輪地区公民館。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

坂井東小学校、新通小学校、坂井輪中学校

## 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 学童と地域住民のコミュニケーション意識を高めることができた。
2. 公共場所を花々で美しく飾り、潤いがえられた。
3. プランターに学童の一言メッセージをもらい、爽やかな印象を与えた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 花植え指導者育成
2. ボランティアの募集

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

1. 植栽作業の写真を広報誌に掲載すると共に、公共施設に写真を展示したい。
2. 今後も継続的に環境美化活動として、小・中学生を巻き込んで実施する。

## 坂井輪を花で飾ろう2015推進事業記録

第1回目：6月6日（土）

地域の方々、小学生、中学生のボランティアが集まってくれました



プランターを良く洗い、培養土を入れて3種類のペゴニアの配置を決めます。



# 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：緑のカーテン植樹普及事業

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 地球温暖化を加速させる二酸化炭素量の削減
2. 省エネ、節電
3. 学校児童含めた地域住民の環境意識の高揚。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 二酸化炭素を吸収するゴーヤを植える。
2. ゴーヤのカーテンを作り省エネにつとめ、二酸化炭素を削減する。
3. 学童および地域住民と共同作業を行い、地域全体で環境意識を高める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 地域住民を対象に、ゴーヤの育て方講習会を行った。
2. 地球温暖化防止についての講習会を行った。
3. 各自治会へチラシ配布すると共に、ゴーヤ苗を配布した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

なし

## 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 環境意識及び環境に対する知識を啓発することができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. ゴーヤ苗を希望者が多く、配布に時間を費や事もあった。
2. ゴーヤの成長は早く、チラシ等およびPR活動のタイミングに苦慮した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

1. 地域住民の環境に関する意識の向上を図り、住みよい坂井輪を目指したい。

緑のカーテン植樹普及事業 記録写真 (H27)

- 1 地球温暖化防止講演会 (4月19日)  
「ゴーヤで緑のカーテンづくり講座」



## 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：坂井輪中学校区地域自治会役員等研修会

### 活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当まちづくり協議会傘下の加入単位自治会は現在 45 団体であるが、その内 1 年交代の新人会長や輪番制の会長 2 年交代自治会が約半数で、その為か、地域の安心安全対策や、環境対策、高齢者支援等の課題に対する自治会の果たす役割とその活動についての意識・理解度が

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域活動の中心的役割を担う自治会のリーダーなどが、組織の活性化と、住みよい地域づくりのための諸課題について研修を行うことで、まちづくり協議会組織の理解を進めるほか、自治会が抱える諸問題についての課題及び解決方法について意見交換を行って意識の醸成を

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 各自治会の組織活動等実態把握調査及びまとめ
2. 自治会役員研修会の開催
3. 地域課題についての情報意見交換会

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西区役所 地域課

### 実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

各自治会の組織体制や活動状況を把握し分析して、他自治会への情報提供ができること及び、新規就任自治会長のまちづくり協議会への理解を図るとともに、地域の問題点について行政からの見解と指導を得て、今後の解決策を模索できる。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

各自治会の組織体制や活動状況を把握し分析して、他自治会への情報提供ができること及び、新規就任自治会長のまちづくり協議会への理解を図るとともに、地域の問題点について行政からの見解と指導を得て、今後の解決策を模索できる。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

対象範囲を各自治会役員まで拡大し、時宜に合った研修会を行っていく。また、自治会長等役員研修会で得られた結果を参考にし、定期的実施する三者合同研修会及び情報交換会に反映させたいと思います。



# 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：坂井輪プレーパーク 8

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

少子化に伴い、地域での子育てが難しい時代を迎えている。また、地域の大人が参画することによって、子どもへの関心を図る。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 地域における親子の安心安全な場所を作る。
2. 保護者に地域の担い手になってもらえるに働きかける。
3. 子ども達が自ら工夫し、遊びを作る力を育む。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 地域内の子どもとおとな及び域内の園に通う子どもと保護者にチラシを配布。
2. 工作コーナー、シャボン玉、ボールプール、面白自転車、ニュースポーツ、昔の遊び、子どもたちのフリースペースを作り自由に活動できるようにする。
3. ポップコーンコーナーを作り祭りの雰囲気を出す。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

坂井輪中学校、わらべ会、ターゲットバードゴルフ協会

## 実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

子ども同士の活動が活発化した結果、中学生がリーダーとなって何も無い場所で小さい子どもも参加できるような遊び場をつくりだし、楽しく遊ぶ様子が見られた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

安心安全に遊べる設備の工夫と安全への配慮。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後は更にこの活動を定着させ、地域の中学生が遊びのリーダーとして沢山のブースで活躍できるような仕掛けを作っていきたい。



## 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：トラック事故防止の交通安全教室

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

子どもは身体が小さくトラックの死角になりやすい面を有しており、痛ましい事故も発生している。また、前年度、西区に於いて高齢者が大型車の左折巻き込み事故にあった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 子どもやお年寄りを大型トラックの運転席に乗せ運転者の死角を確認させる。
2. 事故被害の大きさを認識させる。
3. 交差点における巻き込みの危険性を学び、安全に関する意識を高める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

坂井東小学校及び新通小学校のそれぞれの学校に於いて、9 トンの大型トラックでの死角、交差での、巻き込み事故の怖さを認識してもらった。

平成 26、27 年度実施したので、その状況を 5 枚のパネル写真として作成し、坂井東小学校、新通小学校及び坂井輪地区公民館に展示し多くの人達に広報啓発を行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟西警察署、丸互商会、坂井東小学校、新通小学校

## 実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 児童の登下校時における事故防止の心構えが出来た。（特に大型車への認識）
2. 参加した地域の高齢者に貴重な体験を教えることができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 参加者全員から出来るだけ運転席を体験してもらうようにした。
2. 巻き込み実験では、段ボールを歩行者や自転車に見立て実施した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後も別の視点で交通安全活動を行う。



## 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：交通安全ボランティア活動

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 日常生活の中で車が主流となっていること、また近年高齢化が進み高齢者が事故に巻き込まれることが多くなった。
2. 坂井輪中学校区地域の交通実態から交通安全推進活動が重要である。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 地域住民の安全・命を守るため関係機関・他団体との連携を図る。
2. オリジナルの「交通安全のぼり旗」を作成し、各自治会に配布する。
3. 街頭指導で交通安全を呼びかける。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. オリジナルの「交通安全のぼり旗」を80本作成し、各自治会に配布した。
2. 「交通安全のぼり旗」を持って交通安全の呼びかけを行った。
3. 反射材活用を促すチラシを作成し配布した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等があります

坂井東小学校、新通小学校、坂井輪中学校

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 「交通安全のぼり旗」を目印に、地域住民の方々はじめ学童たちに注意喚起ができた。
2. ボランティア及び各自治会の協力を得、街頭立哨を行ったことで学童たちの登下校時のマナーが良くなった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. ボランティア及び各自治会からの街頭立哨の参加・協力を得ること。
2. 「交通安全のぼり旗」の設置場所に関しての住民からコミュニティの協力を得ること。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

交通量の多い道路を有する自治会を重点に交通事故防止活動を行う。



## 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：広報紙「さかい輪」発行

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

会員（構成団体）及び地域住民にコミュニティ活動の理解と協力を得るため

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

広報誌の発行を増やす。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 「かわら版 さかい輪」を5回発行した。
2. 広報誌「さかい輪」1回発行した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

活動内容や情報の提供によって理解度が高まってきたこと、事業への参加者が増えたこと。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦勞した点はどんなところですか？

資料の提供及び回収に苦勞したが、専門部等に呼びかけ協力を得たこと。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次年度も同様に「かわら版・広報紙」を発行し、活動の理解と参加を呼びかける。

# さかい輪

かわら版

第 15 号

坂井輪中学校区まちづくり協議会だより

## 平成28年度定期総会を開催

平成28年5月22日（日）、西区役所健康センター棟3階会議室にて、坂井輪中学校区まちづくり協議会の定期総会が開催されました。

当日は、4月14日に発生した熊本地震で犠牲となった方々に黙祷が捧げられた後、議事が進められ、平成27年度活動報告並びに収支決算・会計報告及び、平成28年度活動計画並びに収支予算が承認されました。

### 平成28年度の主な活動

- 地域でがんばる産業マップづくり（10月発行）
- 坂井輪レスキュージュニアチーム育成講座（10月予定）
- 交通安全ボランティア活動事業
- 坂井輪プレーパーク9（10月10日（月祝））
- 地域と学校連携あいさつ運動（7月・10月）
- 坂井輪を花で飾ろう2016（6月、10月の2回）
- 坂井輪環境美化推進事業2016
- 寺尾地下道に子ども絵画展示（通年・常設）
- 子どものための安全教室（年3回実施）
- さかい輪健康づくり講座
- 防犯パトロール
- 交通安全街頭指導



他にもたくさんの事業を予定しています。



開会の挨拶をする梶原まちづくり協議会会長

平成27年度で役員を退任されたお二人に、長年の地域活動への貢献に感謝し、定期総会の後、梶原会長より表彰と記念品の贈呈がありました。（表彰された方）

伊田 修一 様（輪ノ内自治会）  
青木 功 様（坂井東3丁目自治会）



定期総会の様子

### 平成28年度 坂井輪中学校区まちづくり協議会 役員名簿

会 長 梶原 宜教（連合自治部部長）	副会長 橋本 浩一（防犯・交通安全部所管）
副会長 郷 扶二子（子ども部部長）	副会長 長谷川 洵（文化・スポーツ部、福祉部所管）
理 事 内山 健作（防火防災部部長）	理 事 富田 繁男（防火防災部副部長）
理 事 山本貴美子 （防犯・交通安全部部長、女性支援隊隊長）	理 事 齋藤 憲一（防犯・交通安全部副部長）
理 事 小林 勉（福祉部部長）	理 事 皆川 直史（福祉部副部長）
理 事 船岡 征夫（生活環境部部長）	理 事 渡辺 穰（事務局長、総務部部長 文化・スポーツ部部長代理）
理 事 石田 一正（文化・スポーツ部副部長）	理 事 目黒 浩輔（広報部部長）
理 事 堀井 賢司（産業振興部部長）	理 事 平井 孝志（事務局次長）
理 事 南雲 貴博（子ども部副部長）	

## 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：坂井輪中学校区「小学生と中学生が楽しく学ぶ防災」

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

災害はいつ起こるかわからない状況であり、家族の不在時に災害が起こっても、自ら危険を回避する行動ができるような身近な防災を考えることが課題となっている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

今回は可能な限り震災時をリアルにイメージさせるために、大地震のつめ跡が今もそのままに残る地域に入り、被災者に会い、防災について真面目に向き合い考えるきっかけ作りを目的とする。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

中越メモリアル回廊まで遠出し見学を行うことで、楽しみながら防災意識を身につける。また、小学校と中学校で行動し、交流を深め、協調性を身に付ける。中学生とおとなの防災ワークショップを行い、災害時の行動シミュレーションをとおして防災について考えるきっかけとする。子ども達の参加できる防災訓練について、大人同志で話し合いをした。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

妙見メモリアルパーク、新潟NPO協会

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

災害時には家族や友達や周囲の人々の安全にも配慮し、他の人の役に立つ行動ができるようになったと思う。デスクワークだけで学べない「なにか」を学び取ることができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

中学生と地域おとなの防災ワークショップを行う。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

災害はいつどこで起こるかわからない。非常時に私たちを守ってくれる人たちがどんなところでどんな仕事をしているか、消防防災関係の施設を見学する。地域で実施する防災活動に、子ども達が参加しやすいように工夫する。



<元気なあいさつ いつも笑顔 地域で頼になる 安心の絆>

新通小学校と坂井東小学校の児童・坂井南中学校の生徒、保護者の皆様へ

平成27年6月22日

坂井南中学校区まちづくり協議会 会長 梶原 直教

坂井南中学校区青少年育成協議会 会長 郷 扶二子

新潟市地域活動補助金  
交付申請中

## 「小中学生が楽しく学ぶ防災バス遠足」 へ行こう！！

平成27年7月28日（火）

### <スケジュール>

8:50 清水フードセンター坂井店駐車場集合 9:00 出発  
16:00 帰清水フードセンター坂井店駐車場到着・解散

### <見学場所>

- ◎おぢや震災ミュージアム そなえ館 (新潟県小千守町上ノ山4-1-1 小千守町防災学習センター「新集館」025-25-7462)
- ◎山古志 震災跡地 (新潟市山古志町沢)
- ◎妙見メモリアルパーク (新潟県小千守町津橋地区)
- 昼休憩は、山古志会館 (新潟市山古志町沢)

<申込方法> 下記の申込用紙を7月×日（△）までに各学級担任に提出してください。  
※定員100名を予定しています。申込者が多い場合は抽選をさせていただきます。参加される方には7月×日までにハガキにてご連絡を差し上げます。

※昼食はお弁当を準備いたします。雨が予想されるので、帽子・飲み物等の準備をお願いします。

問合せ先： 郷 扶二子 090-4811-0294

（きりとり）

「小中学生が楽しく学ぶ防災バス遠足」 申込用紙

「小中学生が楽しく学ぶ防災バス遠足」に参加します

申込み×切り  
×月×日（△）

学校名 \_\_\_\_\_ 学年 \_\_\_\_\_ 組

（ふりがな）

氏名 \_\_\_\_\_ 保護者氏名： \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_ 緊急連絡先（TEL） \_\_\_\_\_

# 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：子どもの居場所事業

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 子どもの数が減少する現社会において、子育てが課題となっている。
2. 地域の大人が、様々な立場で話し合い共に力を合わせ地域の子育てを醸成する。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 地域に於ける、親子の安心・安全な居場所を作る。
2. 保護者世代に地域の担い手となってもらう意識を持ってもらう。
3. 地域の子供を地域で育てる。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 地域運営ひまわりクラブを見学し、学習会を行った。
2. 子どもの工作教室を夏休み期間に行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 学童保育についてまち協の理事、子ども部部員が学び理解することができた。
2. 地域で運営するひまわりクラブを見学することにより、地域運営によるひまわりクラブの様子が分かった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

来年度からモデル事業を受けるという事で、まち協内の意見の集約が得られ、地域の子どもは地域で見守るということを共通認識ができた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

課題としては、特定の人モデル事業運営で苦労することなく、関わる人の輪を広げ地域の子どもを地域で育むという意識を広げていくことが必要だと思う。モデル事業を実施しながらもっと子どもに関わる人の発掘が必要だと感じている。

## 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：文化と健康づくり事業

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

文化活動：JR 越後線「寺尾地下道」の開設に伴い、地下道の環境維持及び地域交流を図るため園児・小中学生の絵画を展示する活動。健康づくり活動：高齢化社会を迎え予防医学の大切さが注目されているため、地域住民で健康維持への関心を高める。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 絵画展示として保育園・幼稚園・小中学校から協力を得る。
2. 家庭で簡単にできる運動を指導する。
3. 参加者同士の交流を深め、地域づくりを推し進める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 関係者に依頼、絵画収集・地下道展示取り換え活動（2ヶ月毎）の活動。
2. 体力測定、筋力アップ運動を指導した。また、脳トレ運動とリズム体操を行った。
3. チラシ配布、広報紙に掲載した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

ダッシュスイミングスクール新潟、西区健康福祉課

## 実績・効果

### Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 地下道の環境維持、子どもたちの成長、地下道利用者からの好評。
2. 運動効果により健康維持の大切さは理解できたと思います。
3. 軽度な運動を通し地域住民の交流が行われ、地域のつながりはできたと思います。
4. 生活習慣を見直す機会ができたと思います。

### Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 絵画展示板の改修。
2. 参加者の年齢差による運動方法の振り分け指導。

### Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

1. 絵画展示、健康づくりとも地域住民から好評を得ており、絵画展示による子どもの成長や健康運動を通じて、お互い地域交流を提供することができるので、今後も継続し実施したいと思っております。



## 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：連合自治部広報紙「大道」発行事業

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当まちづくり協議会での中心的役割を担う自治会長に対し、連合自治部活動の理解と意識啓発すると共に、地域住民に連合自治部の活動内容を周知する。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域活動の中心を担う各自治会はじめ地域住民に対し、連合自治部の活動の理解と地域活動への意識啓発を図る。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

連合自治部で行った1年間の活動事業のトピックスを掲載し、地域活性化に努めた。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西区役所 地域課

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

コミュニティ活動についての理解を得られた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

地域課題を判断し、地域のニーズに合ったテーマ選択に苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次年度以降も連合自治部の1年間のトピックスを掲載し、地域住民の意識高揚を図る

2016

平成28年

1.25

所管 連合自治部

発行責任者 梶原宜教

昭和48年初版

第75号

44自治会  
8,481世帯

題字揮毫 篠田昭新潟市長

# 大道



新潟市西区長 眞島 幸平

## まちづくりの「輪」を広げて

新年おめでとうございます。坂井輪中学校区の皆さまにおかれましては、健康やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。「坂井輪中学校区まちづくり協議会」におかれましては、坂井輪中学校区まちづくりセンターを拠点に、坂井輪地域の課題解決のため、昨年新設された防火防災部を

はじめ各専門部による多種多様な活動に積極的に取り組まれていることに、深く感謝申し上げます。また、毎年春と秋に近隣保育園の園児とともに、区役所庁舎の花植えにご協力いただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。庁舎を訪れる皆さまからも、季節の花々を楽しんでいただいております。

現在、超高齢社会への対応が大きな課題となっておりますが、皆さまが高齢者支援のための人材育成や研修会などを実施され、地域として支え合う体制作りにご尽力いただき、大変心強く感じております。今後とも、皆さまのご活躍により、坂井輪地域の「地域力」がさら

に高まることを期待しております。西区が誕生して10年目の節目を迎えます。西区区ビジョン「まちづくり計画を踏まえ、さらなる魅力と活力あふれる西区を目指して、皆さまとともにまちづくりを進めてまいります。」

## 年頭のご挨拶



坂井輪中学校区まちづくり協議会 会長(連合自治部長) 梶原 宜教

新年明けましておめでとうございます。坂井輪中学校区内自治会の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。さて、昨年の連合自治部活動では、地域自治会の活性化を図るための自治会長研修や、地域の民生委員、友愛訪問員との三者合同による研修、そして合同防災訓練など、地域自治会が直面する大きな課題についての取り組みを行って参りました。

ト調査を行いました。この結果につきましては、2月中旬に皆様のお手元に届くよう作業を進めているところです。できればこの調査内容をもとに、2・3自治会の役員の皆様と「自治会活動の課題解決策や活性化」について意見交換を行ってみたいと思っております。地域の自治会活動の活性化が求められる中で、当坂井輪中学校区内では新たにラベスト亀貝自治会が加入し44自治会となりました。しかし組織的に脆弱で活動の停滞している自治会も多くみられ、連合組織としても再三にわたって各

自治会の皆様に組織の活性化を訴えて参りましたが、結果、未だ今年の実施事業にも全く参加いただけない自治会もあり残念でなりません。地域の活動母体としては、やはり生活の根幹となる自治会の皆様を中心であり、地域住民との「絆」を深めた活動が大切であると思っております。

ことになりました。小学校高学年も対象となった放課後の子育て支援、ひまわり倶楽部への対応も社会的に重要課題として地域力に委ねられてきております。これらの課題についてどのように私共のまち協、特に地域の中核をなす自治会活動の中で関わればいいのか？暗中模索の段階でしたが、今年で何らかの方向性を見出し、自治会の皆様とともに活動の第一歩を踏み出したいと思っております。皆様からもご助言、ご支援いただけると幸いです。

また、昨年、地域自治会活動の実態と課題把握のためのアンケート

今年が新しい活動の第一歩となる良き年となりますようお祈り申し上げますとともに、「子供たちやお年寄りにやさしい、安心安全な住みよい地域づくり」のため、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

今年が新しい活動の第一歩となる良き年となりますようお祈り申し上げますとともに、「子供たちやお年寄りにやさしい、安心安全な住みよい地域づくり」のため、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

今年が新しい活動の第一歩となる良き年となりますようお祈り申し上げますとともに、「子供たちやお年寄りにやさしい、安心安全な住みよい地域づくり」のため、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 西区

## 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

### 活動名

- ・子育てサロン「ふうせんクラブ」の開催(継続)
- ・地域小学校3.4年生「自転車の安全な乗り方講習会」の開催(継続)

## 活動内容

### Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・子育て支援活動「ふうせんクラブ」の継続開催と親子のふれ合い居場所の提供。
- ・子供達の交通ルールとマナーの醸成を図り、地域全体の交通事故「無し」を目指す。

### Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・コミ協の枠を越え周辺地域の子育て経験者の参加を頂き世代交流と利用者の拡大を図る。
- ・学校との連携による児童への交通安全指導教育の定着。

### Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. コミ協地域の枠を越えて、広く子育て経験者に参加をお願いしている。
2. 四季折々にイベントを開催し、こども達へ遊びや文化の楽しみ方を伝えている。
3. 地域小学校3.4年生「自転車の安全な乗り方講習会」の継続開催。

### Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

社会福祉協議会・民生児童委員・警察署・関係小学校他

## 実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・子育て世代のお母さん達の心配や悩みごと等、親子同士また経験者との交流を交えて子育ての大切さ、楽しさを学び合えた。
- ・公道での自転車マナーと道交法など、地域と一体となった教育の機会が出来た。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

事業また行事として継続定着を図るための関係への協力依頼や交渉など。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次年度以降も、重点継続事業として子育て支援と世代間交流が出来る居場所、地域が参加できる交通安全推進教育の一項として、関係者と連携を深め推進する。

### 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

— 27年度の主な活動 —

#### 6月 自転車の安全な乗り方教室



10月 交通安全該当指導研修会



11月 交流イベント「史佳コンサート」



月4回 「ふうせんクラブ」



## 西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

活動名：「狭あい道路の解消」行政コンサルとの共同研究  
参画(継続)

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の道路が狭く行き止まりが多くある。災害時の避難路が確保しにくいため歩行者の安全・安心を十分に確保できないなどの生活基盤が整備されていない。(継続事業)

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

現実的に住民や地域で出来ることを考え、解決に向けたイメージから具体的モデル地域を設定し提案すること。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 行政と協力しコンサルによる街づくり勉強会(4回)を実施した。
2. 狭隘道路・行き止まり解消向けモデル地区の実態を調査した。
3. 解決課題に論点を絞り目指す街づくりイメージを検討し対象地域との協議を進めた。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

行政より外部コンサルタント派遣を受けた。

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

モデル地区の実態を調査し目指す街づくりイメージを検討し、対象地域との協議を進める事が出来た。

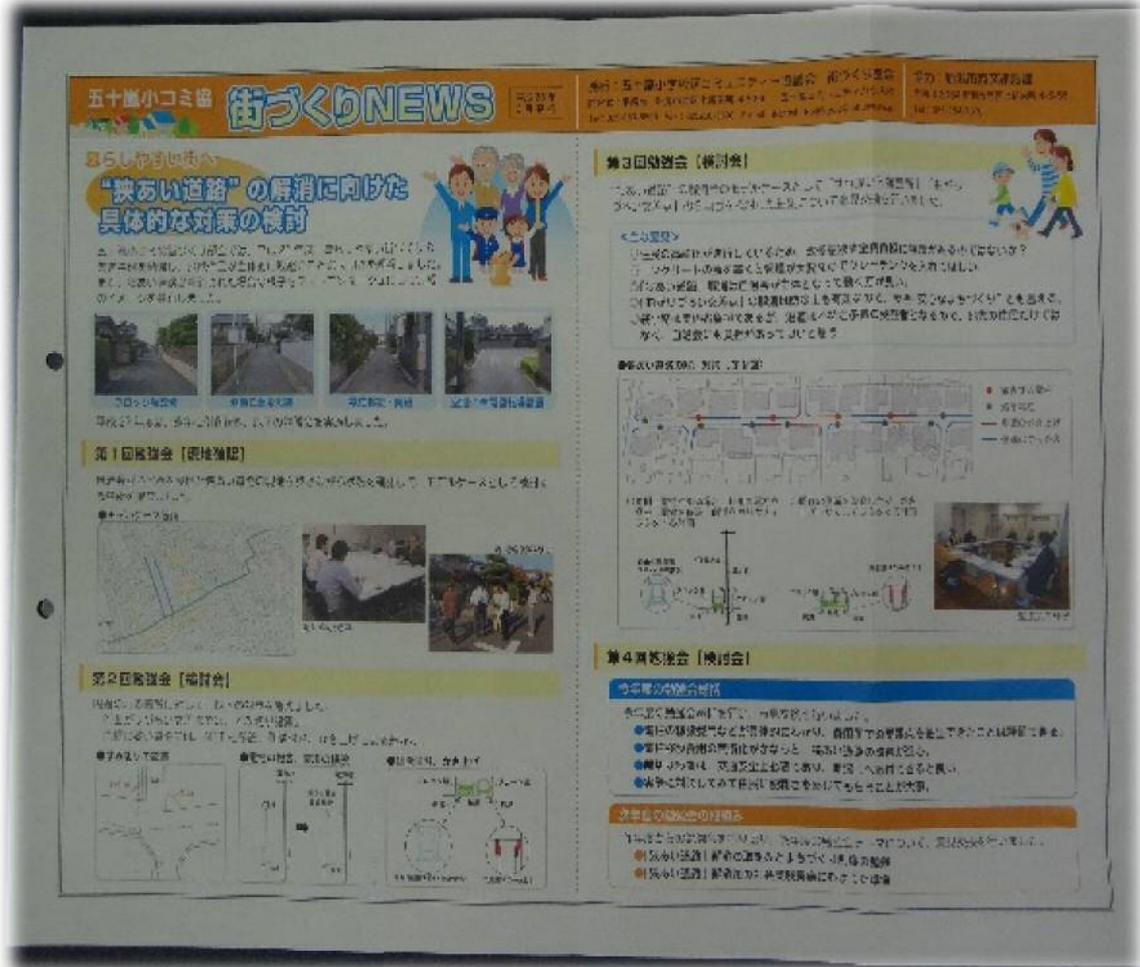
Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

区の街づくり特定事業とし予算的な措置についてコンセンサスを得ること

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

対象地元自治会及び住民の方々へ丁寧な説明と協力をお願いする活動を、行政と連携し街づくり部会として推進する。

区・コンサルタント・街づくり部会との「狭隘道路解消」勉強会 年4回



## 西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

活動名：私たちの海岸保安林保全活動(継続)

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

海岸沿って植林された松林も近年急速にマツクイムシ被害が拡大しその美しい松林が立枯れし飛砂・塩害が日常生活へ大きな影響を与えることが心配されている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

海岸保安林の保全の大切さを理解し私たちが何をすればよいのか、行政、地権者、活動ボランティアと一緒に、地域一体感を醸成し保全活動を進めること。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- 1, 県・市・ボランティア団体とコミ協との合同保安林保全整備の計画立案。
- 2, 機関紙やコミ協諸会議を通じ各自治会長、関係者との意識疎通の醸成。
- 3, 多くの方々に参加いただける開催日(9月下旬)の設定。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

海岸保安林保全活動ボランティア3団体・地域内の大学他

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

多くの人々に保安林保全活動の大切さと具体的活動の意識付けができたこと。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- 1, 先人達のこの地を強風よる飛砂・塩害など自然災害から暮らしを守るこれまでの努力・成果・必要性が気薄となり今の生活環境が当たり前のように受け止められていること。
- 2, コミ協各自治会長に地域の垣根を越えた保全活動の大切さと実践活動への理解・協力をお願いしたこと。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- 1, 重要継続事業とし、多くの方々から理解と協力を得られる体制づくり。
- 2, 自治協議などを通じて「海岸一斉清掃」行事例のように、広域全体活動として定着ができるよう提言して行くこと。

9月 行政・地域・ボランティア団体との海岸保安林保全整備活動



## 西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：402号線飛砂対策「ハマニンニクの植栽」事業

### 活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

保安林造成促進、飛砂対策、除雪対策の継続的な運動の展開。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

課題の中で自主的に対応できる「ハマニンニクの植栽」で飛砂減少を図りながら、引き続き「飛砂防止勉強会」も開催し、未だ「試行錯誤の段階」だと思いますが行政と共に改善に努める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ① 飛砂防止勉強会：3回／年程度（第9回～第11回）
- ② ハマニンニク植栽：平成28年3月26日：402号線海岸側「人口砂丘」にコミ協会員60名参加のもと、1,700本のハマニンニクの苗が植栽された。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟県治山課、新潟市西区建設課、農政商工課、国土交通省北陸地方整備局

### 実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ① 秋から冬の402号線への飛砂が抑制された。又、松海が丘4丁目集落への飛砂も従来よりも減少する。
- ② 平成28年3月26日：国の「海岸協力団体」に全国で初めて指定された。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ① 今年度は従来と異なる対策として、402号線から海側に大きくバックして砂で土手を作り両斜面に植栽するという方法で対応した。
- ② 今後の課題は、民有地を含めて、南側にどのように対策を進めるか？で大いなる自然相手の事業であるので試行錯誤しながら根気よく継続することである。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

引き続き「飛砂防止勉強会」も開発し、未だ「試行錯誤の段階」だと思いますが行政と共に改善に努める。

※活動内容がわかる写真がありましたら添付をお願いします。(2枚程度)  
平成26年10月26日真砂小学校文化祭協賛「写真&絵手紙展示」



平成27年2月8日「文化講演会」



## 西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：真砂文化祭開催事業

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

真砂会館などで活動しているグループや地域の芸術家などの発表の場がない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

芸能、芸術文化活動をしている人々に発表の場を提供し、活動している人々の達成感と地域の人たちに芸能や芸術文化に触れる機会を提供する事に、より関心を持って貰うと共に活動への参加や創作意欲の醸成を促し、地域活性化を図る。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ① 芸能部門発表：民謡、楽器演奏。合唱など
- ② 芸術部門展示：せいか、絵画、書、写真などの展示

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

明倫短期大学校

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ① 発表の場の提供により成果発表による達成感を持ち、気力体力の保持促進が図られた。
- ② 市域の人々に芸術、芸能文化に触れる機会を提供、関心を持って貰うことが出来た。
- ③ 出演や展示募集により、隠れた人材の発掘につながり、地域活性化が期待される。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

事業計画の周知を図るための「コミ協事業検討チーム」（コミ協役員8名、3自治会会長、真砂小学校、明倫短大）を構成し概要を検討、芸術展示、芸能発表場所の視察等を行った。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後も継続実施を図る。

- 1、場の提供により成果の発表による達成感を持ち気力体力の保持増進に繋がる。
- 2、地域の人に芸能、芸術文化に触れる機会を提供。関心を持ってもらい広がりが期待出来る。
- 3、出演や展示募集により隠れた人材の発掘に繋がり、地域活性化が期待できる

## 西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：青少年健全育成部会事業

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の子どもたちにとっての安心安全な街づくり、健全育成を進める上で、子どもたちと地域の方々とのふれあう機会、関わりが少なくなってきた。コミュニティ協議会によるこれまでの活動で少しずつ交流の機会は増えてきているが、十分に改善しているとは言えない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

真砂小学校の子どもたち・保護者・教職員及び地域の方々が共に参加できる事業として、真砂小PTA・まさごわくわくスクールと連携して「まさご体験教室」を行い、共にふれあいお互いを知り合う機会とする。また継続的なあいさつ運動を通じて更なる交流の進展をはかる。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

昔の遊びを中心とした「まさご体験教室」を開催し、地域の方からの作り方の指導など、子どもたちや保護者と地域の方々との交流をはかる。真砂小学校文化祭・PTAふれあい広場に参加し、遊びの場を共有することで、遊び方を教えあうなど、子どもたち、保護者、教職員、地域の方々などとの交流をはかる。まさごわくわくスクール(土曜日午前中に年間約20回開催)に継続的に参加して、あいさつ運動を通じて子どもたちの活動に積極的に参加して、地域の方々と子どもたちの交流の日常化を進める。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

なし

## 実績・効果

### Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

「まさご体験教室」を毎年楽しみにしているとの声や、家でも遊んでいるとの声をかなり聞いた。PTAふれあい広場「プレイゾーン」では昨年同様いろいろな昔遊びを経験し、多くの世代交流が見られた。子どもたちの遊びが上達している。昔の遊びは大人も子どもも一緒に出来る物が多く今後も継続する事によって、保護者、教職員、地域の方々の交流が広がってきている。

### Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

各々児童者数100名の参加を想定したが、昨年より10名程度の減少だった。大きなトラブルもなく安心して運営することが期待される。多くの遊具類の保管場所確保が今後の課題。

### Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

真砂小PTAは事業・体制の改革を進めている。コミ協に関する部分では「PTAふれあい広場」の見直しが検討されている。部会としては、コミ協とワクスクの包括的な運用を目指していきたい。

# 西区 青山小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災訓練

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・東日本大震災で津波被害が甚大となり、いろいろな災害を想定した機動的で、かつ有事に備えた訓練に地域が一丸となって取り組む必要があると考えています。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・各自治会で「一時避難場所」を設定し、各住民に合った避難行動の実施をすること。
- ・防災意識の向上と地域ぐるみで参加意識の高揚をつくることです。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・災害想定を定め、先ず高台への誘導訓練を各自治会で実施しました。
- ・有明地区は、全自治会集合場所を青山小学校として、訓練を実施しました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市 西消防署 青山小学校

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

9月27日（土）の実施で

- ・有明地区の参加者は472人でした。
- ・浦山地区の参加者は537人で、両会場で1,009人参加の訓練となりました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・初期消火を含め体験コースを設置し好評であった。
- ・青山小学校児童からの防災標語募集と優秀作品の表彰を実施した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・幼児や小学生の参加は父兄同伴で得られやすいが、中学生以上の参加は皆無であり今後の活動にどのように参加してもらうかを検討課題としていきたい。







## 西区 青山小学校区コミュニティ協議会

活動名：ふれあいの集い

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・老人クラブの活動自体が衰退化してきて、多くの方の交流の機会が少なくなっている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・有明地区と浦山地区に分けて、多くの参加者を募ることにしました。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・限りある予算の中で、参加者全員から楽しんでもらう企画を立てました。
- ・往復の不便を考慮し、マイクロバスやタクシーの手配をしました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

- ・有明地区自治協議会 ・浦山地区自治協議会

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・有明地区は113人の参加者であった。
- ・浦山地区は133人の参加者であった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦勞した点はどんなところですか？

- ・有明地区は対象を80歳以上として、浦山地区は対象を75歳以上にしました。
- ・有明地区は会場を「有明園」に変更

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・両地区とも、今後ますます対象人口の増加が予想されますが、親しく交流を深めふれあいと、うるおいのある地域づくりを目指して、継続的に展開していきます。





## 西区 青山小学校区コミュニティ協議会

活動名：緊急時医療情報等活用支援事業

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・地域全体の高齢化と介護世帯の増加傾向が顕在化しています。
- ・救急活動が増加傾向にあり、緊急入院や事故及び災害時対応への問題点がありました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・個々の世帯単位で簡潔にできることを第一目標にする。
- ・活動に向け、先進実施事例を参考にする。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・医療情報キットを導入している協議会の事例を視察して、誰でもが準備でき、効率的であると導入を決定しました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

- ・有明地区自治協議会 ・浦山地区自治協議会

### 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・救急活動の際に、救急車や駆けつける近所の人に対応しやすくなりました。
- ・区域管轄の消防署員（救急活動）との情報交換の機会が得られました。
- ・約700世帯の配付実績になっています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦勞した点はどんなところですか？

- ・キットの申し込みから配付までの作業は各自治会の協力が得られ、苦勞した点は無いが救急車を呼んで経験した方に、キット準備の効果を聞くことへの遠慮があり、改善点や工夫が必要かどうか等の確認作業ができていない。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・個人情報であり、設置状態等の確認をどのようにしていくか。
- ・70歳以上の方や持病の方を優先しているが、災害時のためにも全家庭への普及活動を展開していきたい。



## 西区 青山小学校区コミュニティ協議会

活動名：子育て支援事業「おしゃべりカフェ」

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・子育て支援「パンフレット」を作成し子育て中のママさん達に配布
- ・ママさん達の情報交換や集まる場所の周知が難しい

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・地区の民生委員や有明子育て支援センターや助産師からの協力要請

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・年二回程度の開催を検討していたが、ママさん達の要望から、月一回の開催

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟県助産師会 有明子育て支援センター 青山地区民事協

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

ママさんたちが、ゆっくりのんびりとくつろいでもらえる時間と場所の提供が出来た

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

抱っこボランティアの確保

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

参加者が毎回増加傾向で、スペースと会場確保の対策必要  
月一回の開催と情報公開の活発化



## 西区 青山小学校区コミュニティ協議会

活動名：一斉清掃・花文字花壇作り作業

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

コミュニティ全体の「地域環境愛護の心と連帯感の醸成」が求められている

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

関屋分水路の一斉清掃・花文字花壇作り作業を通して、地域の環境美化と連帯感の醸成を図る

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

各自治会に参加の募集パンフレット回覧用配布  
小学校区育成部や地区婦人会のトン汁「お楽しみ昼食会」の協力

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

北陸地方整備局信濃川下流河川事務所 青山小育成部

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

関屋分水路左岸の美化と関屋分水路花文字事業の周知  
地域住民の環境美化意識の高揚及び連帯感

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

活動時、花文字花壇の場所が斜面の為、事故のないように声掛け  
鎌の使用や斜面の活動からボランティア保険導入

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

歴史のある活動の為、地域の連帯と美化をめざして継続的に展開していきたい



## 西区 小針小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災訓練実施・津波避難マップ作成

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

東日本大震災、熊本地震後、地震災害に関心が深まりどのように対応すべきか、また、小針り地域は河川訴状による津波と液状化被害が想定課題である。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

避難訓練（地震・津波）の実施と津波避難マップ（西区役所支援）を作成する

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

防災訓練等は、防災防犯部会で企画運営を行い、小針小学校の全面的な協力を得た。津波避難マップ作成は新潟市の協力を得ました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市・西区役所・西消防署小針出張所

### 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

防災訓練を毎年開催することで防災意識の向上が図られた。また、津波避難マップは平成28年度に作成し各家庭に配布する。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

防災訓練等は自治会の協力を得たこと、また、津波避難マップ作成は各自治会の避難経路及び災害発生時の避難に対する関心が薄いため、情報収集に苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

防災訓練、防災講演会、防災セミナーの開催を通じて更なる防災意識の向上を図る。



## 西区 小針小学校区コミュニティ協議会

活動名：こぼりっこ新春かくし芸大会・小針七夕まつり

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域のコードモト住民の交流を図り、地域で子供を育て守る支援体制を構築する。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

子供が安心して住める、街づくりを作る目的の1つとして、交流会を開催する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

こぼりっこ新春かくし芸大会及びこぼり七夕まつりの開催

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

地域住民

### 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

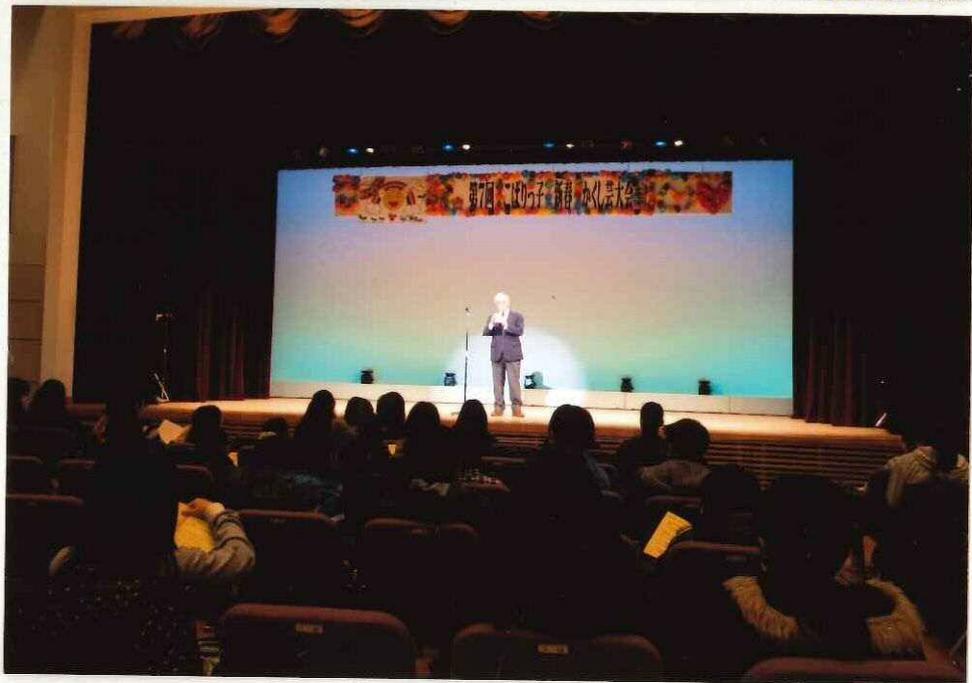
小学生、保護者、地域住民の連携が向上した。  
(登下校時の挨拶の実践と地域活動の参加が多くなった)

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

青少年健全育成部会が担当したが、出演者、協力者の確保に苦労している。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

2事業は毎年開催するが、今後は新規の地域おこしを企画し活動を活性化する。



**未来の子どもたちを支援する**

青少年健全育成部会長 川瀬

● 七夕まつり

平成二七年七月四日、小針青山公民館にお  
「地域ふれあいサロン」と共催で「七夕まつり」  
開催し、参加者は四〇人でした。

● 小針納涼大会

平成二七年八月二三日、小針小学校グラ  
ンにおいて「小針納涼大会」のステージ部門を  
拍ます。子ども達や地域の皆様に出演してい  
き、納涼大会を盛り上げます。また、仮装・浴  
ンテストも開催し、祭りに花を添えます。

● こばりっ子新春かくし芸大会

平成二八年一月三〇日、西新潟市民会館に  
て八回目を迎える地域・学校・子供達と地域  
をつなぐ発表の場として、「こばりっ子新春  
し芸大会」を開催します。



第8回 こばりっ子新春隠し芸大会

平成 28年 1月 30日 (土)



おや



い

## 西区 黒埼南ふれあい協議会

活動名：黒埼南まちづくりセンターオアシス事業

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当地域は米と枝豆が主な農産物で、大家族単位で営む農村集落でしたが時代の変化と共に高齢化と晩婚化が進み、若者の担い手不足が深刻化してきたので農業を継ぐ若者達に交流の場を提供し、以前の賑わいが少しでも戻って来ることを期待し地域の絆づくりと活性化の手助けになればと願い企画しました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

米価の価格低迷と減反比率のアップ等で農業所得が目減りする中で安心・安全な農産物を消費者に届けている努力と新潟市の銘産品に指定されている黒鳥産枝豆の美味しさを多くの方に知って頂く事を目標に枝豆の作付けから収穫までを体験し農業の面白さや奥深さを体感して頂くと共に大根やサツマイモの育成・収穫の場を提供する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

ご近所・お茶の間広場 ②枝豆の里で作る幻の肴豆作付け体験 ③ 夏休み縁日（スライム作り・ソーメン流し） ⑤ 黒鳥ふれあい農業まつり ⑥ サツマイモダイコンの収穫体験等

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

・黒鳥自治会・黒埼地区公民館・黒埼南小学校・黒埼商工会・JA越後中央農協

## 実績・効果

### Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

枝豆の作付け体験やサツマイモ堀体験など農作業一部を都市部消費者が体験した事により当地域の安心安全で美味しい農産物を理解してもらった事や活動によって今まで話したこともなかった多くの老若男女の人達が互いに交流することができましたので地域の賑わいが少しは深まったと感じています。

### Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

屋外作業を原則とする農業は天候に左右され点多々あるので日々の気象情報を確認すると共に、晴天高温の場合は熱中症を心配し、雨の場合の対策などが大変でしたが大盛況で良かった。また、継続して実施している農業まつりは多くの方が来場して混雑しましたが、黒埼南部公民館やまちづくりセンターの周知に貢献できたと思っている。

### Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域活性化に貢献していると事業と思っているが農産物の販路拡大など今後も活動を継続していくには多くの課題があるのでスタッフ一同は新たな知恵と工夫を施し次回に結びつけて行きたいと思っています。





## 西区 山田校区ふれあい協議会

活動名：歴史・文化を伝える「紙芝居事業」

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

山田地域の歴史・文化を伝え残していくことはできないか。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

山田地域の歴史・文化を紙芝居にして発表する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

活動の初めとして、終戦直前の「旧山田飛行場」のことを紙芝居として作成し、地域の各集会所、山田小学校及び黒崎市民会館で発表した。  
紙芝居は、8月から12月までの約5か月間各所を回り発表した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

### 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

延べ約570名の参加者があり、終戦当時の状況や戦争の悲惨さを学ぶことができた。  
黒崎地区青少年育成協議会「わかば賞」を受賞した

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

当時の状況をいかに解りやすく紙芝居で表現し、状況を伝え、共感を得てもらえることができるか。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後は、地域の伝説・児童文学・教育画劇などの紙芝居を実演し、道徳性や共感性の向上を図りたい。

【紙芝居事業】



## 西区 山田校区ふれあい協議会

活動名：夏休み前のふれあいクリーン作戦

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

隣近所、地域住民の意思疎通を図ることができないか。  
併せて爽やかな汗をかき健康増進することができるか。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

近隣同士に声を掛け合い、助け合いの輪を広げ、新たなつながりを生み出すこと。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

子どもたちが夏休み前の朝7時～1時間程度、涼しい時間帯に近隣の公園を清掃する。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

参加者133名で、予想以上の人たちが清掃活動を通じて親睦の輪が広がった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

参加者の輪を広げるため、広く広報すること。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

毎年、定例で実施したい。

活動事例（平成27年度）

【夏休み前のふれあいクリーン作戦】

